

1 2	第5章 平面図形 1 平面図形 1 直線と角 2 図形の移動 2 作図 1 基本の作図 2 いろいろな作図 3 円とおうぎ形 1 円 2 おうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> 直線と線分 角と表し方 垂直と平行 距離 平行移動と作図 回転移動と作図 対称移動と作図 	1 1 0.5 0.5 1 1 1	1 1 0.5 0.5 1 1 1	①	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を平面図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図に関心を持ち、その方法を考えたり、問題解決に生かしたりしようとしている。 平行移動・対称移動・回転移動に、関心を持ち、図形を移動したり、移動の前後の二つの図形の関係を考えたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言
					②	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形についての基礎的な知識の習得や活用を通して、対称性に注目したりするなど、図形に対する直観的な見方や考え方を身に付け、筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形を対称性の観点から考えたり、とらえ直したりすることができる。 角の二等分線などの「作図」の方法を、対称性に注目して考えることができる。 「作図」した図形が条件に適するものであるか否かを振り返って考えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 指導方法の工夫改善(個別観察と支援) 教材の開発
					③	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形などの図形を、基本的な作図方法などによって適切に表現したり、操作や実験を適切に行い、基本的な図形の計量を行ったりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ある図形が、線対称、点対称であるかどうかを説明することができる。 線対称、点対称な図形をつくったりかいたりすることができる。 「作図」の方法で、角の二等分線、円の接線などを作図することができる。 「作図」の手順を説明することができる。 		
					④	<ul style="list-style-type: none"> 線対称や点対称などの平面図形についての性質や関係、基本的な図形の作図や図形の計量の仕方などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 線対称や点対称の意味及び対称な図形の性質を理解している。 線対称の軸や点対称の中心の意味を理解している。 測定に頼らずに図形をかく「作図」の意味と方法を理解している。 角の二等分線などの「作図」の方法を理解している。 円の半径と接線との関係、弧や弦の意味を理解している。 		
1	20時間配当	<ul style="list-style-type: none"> ☆章の復習 ※発展課題 	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1					
2	第6章 空間図形 1 空間図形 1 いろいろな立体 2 空間における平面と直線 3 立体のいろいろな見方	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな立体 ◎正多面体を作ろう 角柱と角錐 円と円柱 直線の位置関係 ☆直線の位置関係の確認 距離 面を動かしてできる立体 線を動かしてできる立体 	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	①	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を空間図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面に関心を持ち、それらの位置関係について考えようとしている。 空間図形の構成に関心を持ち、直線や平面図形の運動によって、どの空間図形が構成されるかを考えようとしている。 見取図、展開図、投影図に関心を持ち、それらを用いて空間図形を表したり、読み取ったりしようとしている。 扇形の弧の長さや面積や、柱体・錐体・球の表面積と体積に関心を持ち、その求め方を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善

3	2 立体の表面積と体積 1 立体の表面積 2 立体の体積 3 球の表面積と体積 20時間配当	<ul style="list-style-type: none"> 立体の投影図 ◎なぞの立体の正体 柱体の表面積 錐体の表面積 角錐、円錐の表面積 柱体の体積 錐体の体積 円錐の体積 球の表面積 球の体積 ☆計量問題の練習 ※いろいろな立体の表面積、体積 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 0.5 0.5 1 1 1 1 1 1 3	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間図形についての基礎的な知識の習得や活用を通して、直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたりするなど、図形に対する直観的な見方や考え方を身に付け、筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線と直線、直線と平面、平面と平面の位置関係について、見通しをもち、観察、操作や実験を通して、考えることができる。 柱体・錐体などの空間図形が直線や平面図形の運動によって構成されているとみることができる。 空間図形の性質を見取図や展開図を目的に応じて用いて調べ、空間図形を平面図形に帰着させて考えることができる。 おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を、中心角の大きさとの関係に注目して考えることができる。 観察、操作や実験を通して、柱体・錐体の表面積の求め方を考えることができる。 	(個別観察と支援) ・教材の開発	
				<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間図形などの図形を見取図、展開図によって適切に表現したり、空間図形を直線や平面図形の運動によってとらえ、操作や実験を適切に行い、基本的な図形の計量を行ったりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 立体模型などを用いて、空間における直線や平面の位置関係には、どんな場合があるか説明することができる。 直線や平面図形の運動による柱体・錐体などの空間図形の構成の仕方を、言葉や図などを用いて説明することができる。 見取図や展開図を、用いて空間図形を表したり、見取図や展開図から空間図形やその性質をよみとったりすることができる。 おうぎ形の弧の長さや面積や柱体・錐体の表面積と体積を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。 			
				<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係及び基本的な図形の性質や図形の計量の仕方などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を分類することができる。 柱体・錐体などの空間図形は、直線や平面図形の運動によって、立体が構成されることを理解している。 回転体の意味を理解している。 見取図と展開図の意味や役割を理解している。 円周率を記号「π」と表すことの意味を理解している。 柱体・錐体の表面積（底面積、側面積）と体積の意味やその求め方を理解している。 			
	第7章 資料の整理とその活用 1 資料の整理とその活用 1 度数の分布 2 資料の比較 3 資料の代表値 4 近似値と有効数字 5 資料の活用 18時間配当	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表を作る ヒストグラムを作る 度数折れ線を作る ◎資料を比べてみよう① 相対度数 代表値、平均値 階級と階級値 中央値 最頻値 分散の様子と代表値 散らばりと範囲 ◎資料を比べてみよう② 真の値と誤差 有効数字 ※自分で調べて発表しよう ☆章の復習 ※発展課題 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることに関心をもつとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明しようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理しようとしている。 問題を解決するため、代表値などを求めようとしている。 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善（個別観察と支援） 教材の開発
				<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりするとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料の傾向を読み取り説明することができる。 問題を解決するために、代表値等を用いて、資料の傾向をとらえて説明することができる。 有効数字を使って表すと、どこまでが意味ある数字かが分かるという良さを考えることができる。 資料を整理して傾向をとらえ、ヒストグラムや代表値などを用いて、説明することができる。 			

					③	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理することができる。 問題を解決するため、代表値などを求めることができる。 ある数値を、有効数字を使って表すことができる。 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理することができる。 		
					④	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理する方法や代表値、数量の表現方法などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表やヒストグラム、相対度数などの必要性と意味を理解している。 代表値などの必要性と意味を理解している。 有効数字や近似値、誤差の意味を理解している。 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などをどのように用いればよいかを理解している。 		
	全体総合演習 2時間配当	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的基本的な事項の確認 総合演習 ※発展的な課題学習 	2	2				<ul style="list-style-type: none"> 練習課題 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 机間指導 指導助言 教材の開発
	ぐんぐんのばそうチャレンジ編 1時間配当	<ul style="list-style-type: none"> 中2で学習する内容の紹介 	1	1	②	<ul style="list-style-type: none"> 中1数学との関係を明確に発展的な学習内容を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題例 二元一次方程式の解 一次関数と比例の違い 		<ul style="list-style-type: none"> 教材の開発 指導方法の工夫改善
年間	各章共通	各内容共通			①	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考えることに興味をもち、意欲的に問題の解決に活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に積極的に取り組み、数学を活用し授業では発言や質問ができる。 能力に合わせてノートを作成し提出することができる。 練習課題に取り組み自己の課題を確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 机間指導 ノート提出 課題提出 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 指導助言 個別指導 未提出物連絡